

厚木市議会議員

あなたのコンシェルジュ(サービス係)

高田ヒロシ

通信



〒243-0204 厚木市鳶尾 5-18-8 tel:046-242-1930 af015nswoz@yahoo.co.jp



市役所コンピュータ
システム改革で

年間
3億円
削った男

<http://www.hiroshi-takada.com/>



4月17日夜

首都高速

被災地に物資を届けて来ました

津波被害の岩手県山田町へ

4月17日夕刻出発、19日朝4時帰宅



出発前の仕分け作業

厚木市民に支援の賛同をインターネットなどでお願いしたところ、二週間で想像以上に物資が集まりました。市内中学校生徒会や夢未市(JAあつぎ)からも預かりました。そこへ、1トントラックの寄付申し出があり、一回で運搬。そのトラック寄付先は山田町漁協関係者に決定しました。お預かりした支援物資と義援金を携え4月17日夕刻、岩手県山田町へ出発。横浜国立大学准教授と湯河原町議及びその知人である和尚様(臨済宗)の4人で届けました。

今回の被災地行きは、私の個人的な発案・行動です。東北自動車道から距離があり、報道量が比較的少ない自治体を選びました。

①弱者に政治の場から手を差し伸べる。②地域で活動しながら、地球のことを考える。これら二つは私の政治信条です。

山田町に入ってから次のコントラストが鮮明であることを感じました。

- ① 普段と変わらない町並み
- ② 津波で破壊された地域
- ③ 風光明媚な山や海

①と②は、津波が到達したか否かの差です。



4月18日朝8時30分、活動開始。町役場職員やケアマネージャーにより、個人宅や小中学校などを訪問しました。

気になった点は次の通りです。私たちにとって、日頃の備えに役立てて頂ければ幸いです。

- ・日頃のご近所付き合いの大切さ
- ・地震より津波の被害が大きい
- ・リーダーの心のあり方
- ・介護用品が不足していた
- ・水洗トイレが使えない
- ・断水、停電が一ヶ月



介護対象者宅に食料



積み込み完了、出発準備 OK



下水道の破損により水洗トイレが使用不可に

↓ 仮設トイレ

汲み取り式は問題なし



2時間待ちの配給



避難所内部



小中学校に文房具



津波で屋上にポルシェ



詳細 → <http://www.hiroshi-takada.com/110418.html>



町長と面会
11万1千円寄付



大槌駅ホームにて



チラシ配布のボランティアを募集しています。よろしくお願い致します。